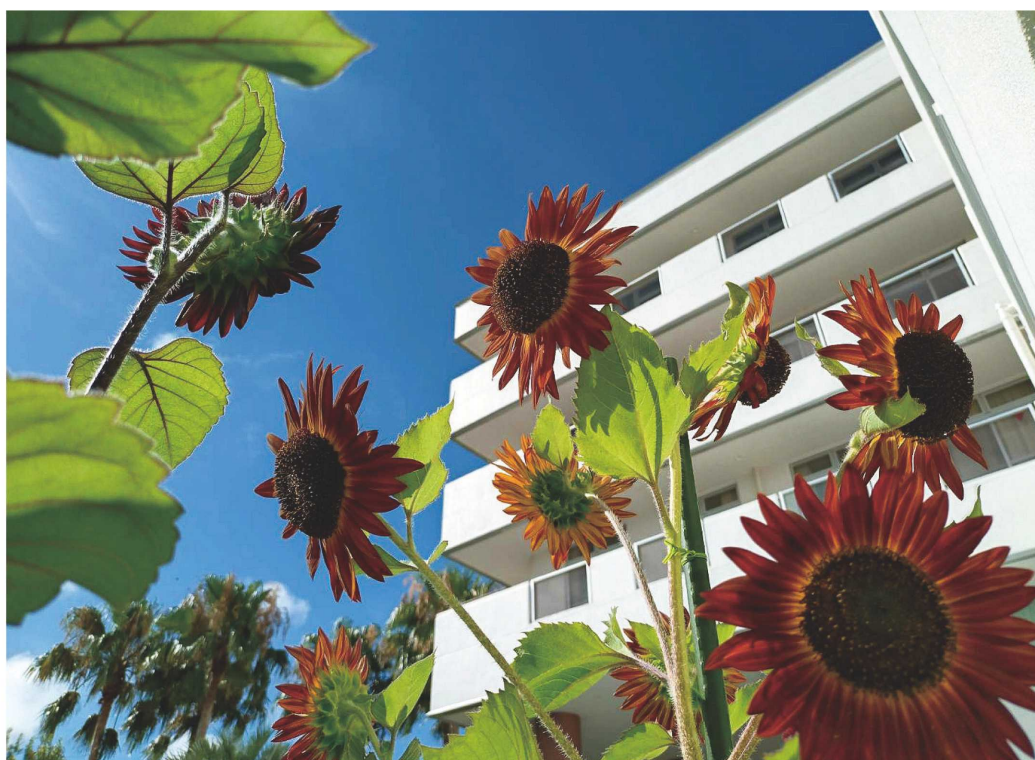


はまY@U



Vol.
57
2024.夏号

「明日に向かって」～ミラクルチョコレートひまわりからのエール～
撮影者：訪問看護ステーション所長 安井 詳子

泌尿器科

診療日／月・火・水・金曜日 午前
月・火・水・金曜日 午後（予約制）
受付時間／午前8時半～11時半
午後1時半～4時半
診療時間／午前9時～12時
午後2時～5時

担当：きむら やすのり
木村 泰典 部長
かわしま ひでのり
川嶋 秀紀 医師
むらした じゅんき
村下 純輝 医師
たかはし ひかる
高橋 輝 医師

外科／消化器外科外来

診療日／月・火・木・金・土曜日 午前
水曜日 午後3時～（予約制）
受付時間／午前8時半～11時半
診療時間／午前9時～12時

担当：かとう しゅんじ
加藤 俊治 医長
しまうち ゆうき
島内 裕輝 医師

CONTENTS

理念・基本方針	2
理事長就任のご挨拶 新採用医師のご紹介	3
2024年度財団事業計画	4～6
2023年度白浜はまゆう病院診療実績	7
診察室から ～リハビリテーション専門外来のご紹介～	8
各部署から ～看護部 歯科衛生士のご紹介～	9
禁煙教室、富田地域送迎サービス、職員募集広告	10
一週間のバランス献立	11

●白浜はまゆう病院 外来診療担当表

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。



公益財団法人日本医療機能評価機構 認定施設複合病院（一般病棟1・
リハビリテーション病院・慢性期病院）機能種別版機能評価項目3rdG:Ver.2.0



この製品は、FSC®認証材、再生資源、およびその他の管理原材料から作られています。

理念 基本方針

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にしたい医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

6. 質の維持と改善

私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

7. 観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れられるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。



公益目的事業へのご寄附のお願い

当法人の公益目的事業にご理解とご賛同をいただき、是非ご寄附をお寄せくださいますようお願い申し上げます。皆様からの寄附金は、公益目的事業遂行のために有効に使用させていただきます。

事業目的

当法人は、白浜町及びその周辺地域の公衆衛生の向上と地域医療に関する事業を行い、もって地域住民及び観光滞在者等の健康と福祉の増進に寄与することを目的としています。

事業内容(公益目的事業)

当法人は、国立病院等の再編成計画により廃止された元国立白浜温泉病院施設を、医療施設として再利用してほしいという地域住民の願いを実現するため、白浜町はじめ民間団体等の参画により開設された法人です。

現在白浜はまゆう病院、診療所、訪問看護ステーション、骨リウマチ疾患探索研究所を運営し、予防から治療、リハビリテーション、看取りまでの医療・ケアを提供し、地域医療の向上や地域住民、観光滞在者等の健康と福祉の増進に寄与する事業を行っています。

- | | |
|---|----------------------------------|
| (1) 地域医療を主体とする病院の管理運営 | (6) 生活習慣病予防の健康診断及び健康増進並びにがん検診事業 |
| (2) 救急医療の実施 | (7) 無医地区及びへき地等における在宅療養支援診療所の管理運営 |
| (3) 介護保険法による介護医療院の運営並びに居宅介護支援事業及び指定居宅サービス事業等の実施 | (8) 訪問看護ステーションの管理運営 |
| (4) 開放型病院による登録医への共同利用施設としての医療機器及び病床の提供 | (9) 医療・保健・福祉に関する調査研究並びに普及啓発 |
| (5) 温泉を活用したリハビリテーションの推進 | (10) 高齢者・障害者等の医療とケアに関する調査研究 |
| | (11) その他、この法人の目的を達成するための事業 |

税制上の優遇措置

当法人への寄附金には、特定公益増進法人としての税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除を受けることができます。(詳細は白浜はまゆう病院ホームページをご覧ください。)

寄附金の申込

白浜はまゆう病院ホームページに掲載しております寄附金申込書に必要事項をご記入の上、下記まで郵送・ファックスしてください。もしくは、下記までご連絡をお願い致します。

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地 白浜はまゆう病院内
公益財団法人白浜医療福祉財団 法人事務局
TEL 0739-43-6200 / FAX 0739-43-7891

理事長就任のご挨拶

本格的な夏の到来を迎え、皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

連日、記録的な猛暑が続いており、熱中症リスクも極めて高く、健康被害が懸念されるところであります。十分な熱中症対策をとり、暑い夏を乗り越えていきましょう。

白浜医療福祉財団は、公益財団法人としての事業の公益性を追求しつつ、社会的責任を果たしていかなければなりません。定款に定められている「白浜町及びその周辺地域の公衆衛生の向上と地域医療に関する事業を行い、もって地域住民及び観光滞在者等の健康と福祉の増進に寄与することを目的とする」との使命に基づき、白浜はまゆう病院をはじめとする事業所では、質の高い医療と福祉の向上を目指し、さらに努めていかねばならないと考えています。

これからも地域医療の中核的病院として、関係機関と連携しながら医療体制の充実と更なる事業強化に努めたいと存じますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

より安心で、より安全な病院づくりを皆様と共に目指すことが私に課せられた責務だと考えております。皆様方には今後ともご指導、ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます、理事長就任のご挨拶とさせていただきます。



白浜はまゆう病院
理事長 大江 康弘

新採用医師のご紹介



しまうち ゆうき
島内 裕輝 医師 消化器外科

京都府立医科大学附属病院消化器外科より、8月から赴任させていただきました島内 裕輝と申します。

平成31年に京都府立医科大学を卒業後、初期研修の2年間、後期研修の3年間ともに京都で過ごしました。

4ヶ月という短い期間ではありますが、白浜の医療に少しでも貢献できるよう尽力させていただきますので、何卒よろしく御願いたします。

公益財団法人白浜医療福祉財団

2024年度の主な事業計画

公益財団法人白浜医療福祉財団は、1993年2月に設立されて以来31年、1994年2月の白浜はまゆう病院開院後、30年という節目の年を迎えました。病院を中核事業として診療所、訪問看護ステーション、通所リハビリテーションセンターを運営し、法人の設置目的である地域住民及び観光滞在者等の健康と福祉の増進に努めてきました。

私たち職員一人ひとりが公益法人職員であることの意識と自覚を持って、理念と基本方針に基づき、地域医療を担う専門的知識を有する医療人として、施設や職種を超えて連携と協力を強め顔の見える関係づくりを行い、健康と福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

1 法人事業計画

- (1)「理念」「基本方針」の実践
- (2)運営基盤の整備、財政基盤の強化
- (3)人材確保及び研究・教育研修活動
- (4)広報・啓発の強化
- (5)医療・保健・福祉連携の推進

2 白浜はまゆう病院

- (1)病院組織の整備
医療人材を確保し、外来・入院体制を強化する。人材確保のためにも、職員が働きやすい職場とするための取り組みを行う。とりわけ看護師の確保および定着については全職種が協力して取り組む。
- (2)診療報酬改定への対応
地域における当院の役割を認識し、医療と介護の連携、地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを推進し、2024年度診療報酬、介護報酬改定のダブル改定の情報収集をして漏れのない対応を実践していく。
- (3)診療機能・診療体制の充実
各診療科の体制充実を図り、医師確保の取り組みを継続する。
- (4)看護師体制の充実
タスクシェア・タスクシフト、ワークライフバランス推進、育児支援等を通じて職場満足度を高め、現場で働く看護師の離職防止・職場定着を図り、看護師確保に向け全力で取り組み、看護の質向上に努める。2024年度も看護師確保・定着のために新しい取り組みを計画し実行する。
- (5)地域医療連携の推進
医療情報システムを有効活用し、診療情報の共有による一貫した医療を提供し、地域の医療機関・福祉施設等との役割分担・連携を密にして、患者・利用者に応じた医療・福祉サービスの提供に努める。
- (6)安全な病院づくり
医療安全・感染対策への取り組みを強化し、火災や大規模災害に備えた防災体制を整備する。
- (7)災害医療
災害支援病院として、災害医療に関わる人材養成、院内災害医療訓練の開催、BCP(事業継続計画)の整備、災害時における水と電気の確保等を進める。
- (8)施設・設備、医療機器の充実
施設・設備等の修理、医療機器等の整備を進める。
- (9)救急医療の推進
夜間休日等の急患受入れ体制を充実し、田辺地方病院群輪番制救急医療、年末年始の救急当番等への参加を継続し、地域の救急医療ニーズに応える。
- (10)在宅ケアの推進
医療・介護制度が在宅医療にシフトされていく状況の中で、地域の診療所・介護保険サービス事業所等の連携・支援体制の充実を図る。
- (11)ホスピタリティの向上
「患者サービス広報委員会」「マナーリーダー会」の活動を核にして、サービスの改善・向上に努め、ホスピタリティの高い病院づくりを推進する。通院困難な患者様への対応として導入した患者送迎車の利便性及び効率性を高めるよう、白浜町と協力連携し範囲拡大等の検討を行う。
- (12)教育・研修、福利厚生の充実
「教育委員会」の活動を通じ、教育研修を推進し、進歩高度化する医療・ケア技術を学び医療モラル、専門性及びサービス精神を兼ね備

えた職員を養成する。福利厚生の実施に努め、働きやすい職場環境づくりを推進する。

(13) 財務・経営改善

看護師確保と入院受け入れ体制を整備し制限を行っている病床を復活させ、きめ細かい病床管理による高稼働率を維持することと、診療報酬改定に伴い新規かつ高次の施設基準・加算の届出による増収に努めると共に経費の削減と効率の良い運営を推進して収益の改善を図っていく。

3 西富田クリニック

- (1) 外来診療機能の充実・安定のために、関連施設、病院・診療所との連携をとり、患者様の利便性を高め、患者数の確保に努める。
- (2) 24時間体制で訪問診療・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として在宅医療の充実を図る。
- (3) 休日・夜間の患者様からの問い合わせに対し、白浜はまゆう病院との連携を図る。
- (4) 予防医学に向けた活動として、各種健診を実施する。
- (5) 患者動向や2024年度の医療・介護診療報酬改定に対応し、診療所運営に反映させながら経営の安定に努める。
- (6) 画像遠隔診断等のITを推進する。
- (7) 患者送迎のアクセス改善の検討を継続し可能なことから実行していく。

4 鮎川診療所

- (1) 外来診療機能を充実し、患者数の確保に努める。白浜はまゆう病院との更なる連携を図り、患者様が安心できる診療所運営を目指す。内科・泌尿器科・整形外科診療の充実・安定を図る。
- (2) 財団関係施設、他の医療機関、介護事業所との協力連携を更に深め、24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として在宅医療の充実を図る。白浜はまゆう病院との連携により、休日・夜間の患者様からの問い合わせに対応する。白浜はまゆう病院の地域包括ケア病棟を活用して、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築に努める。
- (3) 地域に密着し、地域の方々に広く利用していただける診療所運営に努める。
- (4) 通院困難者等への送迎サービスの提供により利便性を高め患者満足度及び受診率の向上を図る。
- (5) 在宅医療の一環として訪問診療を行うなど、地域に密着した運営を行う。
- (6) 地域の保健・福祉・介護事業所・学校等と連携し、医療面での支援・協力を行う。
- (7) 検査チャトル便の利用等を通じ、白浜はまゆう病院の診療機能を活用するとともに、財団関係診療所との一体的な運用に努める。
- (8) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを有効に活用し、診断の向上に努める。
- (9) 保険診療において、査定・返戻等を検討し、経営の健全化を図る。
- (10) 特定健診、後期高齢者健診、他を実施する。
- (11) 診療報酬改定の内容を検証、分析をして的確な判断と対応を行い診療所運営に反映させながら経営の安定維持に努める。
- (12) 各診療所間・病院が連携し診療所職員の適切な休暇取得を実現する。

5 日置診療所

- (1) 外来診療機能を充実し、患者数の確保に努める。診療科：内科
- (2) 特定健診を実施する。
- (3) 財団関係施設、他の医療機関、介護事業所との協力連携を更に深め、24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として在宅医療の充実を図る。白浜はまゆう病院との連携により、休日・夜間の患者様からの問い合わせに対応する。白浜はまゆう病院の地域包括ケア病棟を活用して、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、地域包括ケアシステム構築に努める。
- (4) 白浜町指定管理者制度の趣旨を踏まえ、地域の保健・福祉・介護事業所・学校等と連携し、医療面での支援・協力を行う。
- (5) 通院困難者等への送迎サービスの提供により利便性を高め患者満足度及び受診率の向上を図る。
- (6) 検査チャトル便の利用等を通じ、白浜はまゆう病院の診療機能を活用する。
- (7) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを有効に活用し、診断の向上に努める。
- (8) 診療報酬改定の内容を検証、分析をして的確な判断と対応を行い診療所運営に反映させながら経営の安定維持に努める。
- (9) 新型コロナ感染予防対策、院内での感染拡大防止対策をひきつづき実施する。

6 三舞診療所

- (1) 白浜町指定管理者制度の趣旨を踏まえ診療所における保健医療を充足し、地域住民の健康増進に寄与する。
- (2) 外来診療、週2回を継続する。
診療科：内科 診療日：月・金曜日 受付時間：午後1時30分～4時30分 診療時間：午後2時～5時00分
- (3) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを有効に活用し、診断の向上に努める。
- (4) 診療報酬改定の内容の検証、分析をして的確な判断と対応を行い診療所運営に反映させながら経営の安全維持に努める。

7 川添診療所

- (1) 外来診療日数は、週3日を継続し、休診日は白浜はまゆう病院や財団関連診療所のご案内をして患者様の不安を軽減するよう努める。
診療日:月・水・金 診療科:内科
- (2) 財団関係施設、他の医療機関、介護事業所との協力連携を更に深め、24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として在宅医療の充実を図る。白浜はまゆう病院との連携により、休日・夜間の患者様からの問い合わせに対応する。白浜はまゆう病院の地域包括ケア病棟を活用して、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築に努める。
- (3) 白浜町指定管理者制度の趣旨を踏まえ、地域の保健・福祉・介護事業所等と連携し、医療面での支援・協力を行う。
- (4) 送迎自動車を運行し、通院困難な患者様へのサービス提供を行う。
- (5) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを有効に活用し、診断の向上に努める。
- (6) 診療報酬改定の内容を検証、分析をして的確な判断と対応を行い診療所運営に反映させながら経営の安定維持に努める。
- (7) 和歌山県からの医師派遣の継続維持が得られるよう要請を続ける。
- (8) 労働安全対策を現行の働き方改革に遅れることのないように推進していく。

8 訪問看護ステーションたんぽぽ

- (1) 積極的な営業活動を推進し、利用者の拡大に努め経営の向上安定を図る。
- (2) 居宅サービス事業者として、他の事業者とのチームワークを大切にして、サービスの質の向上と円滑な提供に努める。
- (3) 業務改善を図り、訪問事業の円滑な運営を行う。訪問看護、訪問リハビリを効率的に行う。
- (4) 利用者数に見合った職員数を確保し、事故防止に努め、利用者が安心してサービスが受けられるようにする。
- (5) 研修に積極的に参加し、職員の資質の向上を図り、質の高い看護・リハビリを提供し、利用者との信頼関係を深める。
- (6) 財団関係施設及び白浜医療・保健・福祉総合センター内施設間の連携に努め、在宅ケアを推進する。白浜はまゆう病院の地域包括ケア病棟を活用して、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築に努める。
- (7) 利用者の増加、訪問ニーズに対応するため、土曜日1日勤務を1.5名～2名で対応する。
- (8) 看護学生の実習受入を継続し、人材確保に向けた取り組みに繋げていく。
- (9) 診療報酬改定の内容を検証、分析をして的確な判断と対応を行い訪問看護事業運営に反映させながら経営の安定維持に努める。

9 骨リウマチ疾患探索研究所

- (1) 関節リウマチおよび骨粗鬆症に関する市販後薬を対象とした臨床研究を行う。大阪公立大学大学院医学研究科整形外科を主体として行われてきた臨床研究をサポートする。
- (2) 関節リウマチに係るTOMORROW研究にて蓄積されたデータの解析を行い新しい知見を発信する。関節リウマチ治療におけるCOVID-19ワクチンに関する臨床研究であるCOVER調査を進める。
- (3) 2014年に立ち上げたWaRAネット(関節リウマチ啓蒙講演会)を開催する等、関節リウマチおよび骨粗鬆症に関する知識の普及を患者のみならず医療関係者にも計って行く。

10 通所リハビリテーションセンター

- (1) 理学療法士、作業療法士等が利用者一人ひとりに適したリハビリテーションを提供し、日常生活における活動支援や社会参加の獲得を目指した個別指導やトレーニング等を継続して行う。
- (2) リハビリニーズの高い利用者、他のサービス事業者の中から第一に選ばれる施設を目指し、サービスの質や満足度の向上及び差別化を図り、利用者の確保に取り組むとともに、収支の安定を目指す。
- (3) 指定居宅サービス事業者として、他の事業者と連携し円滑にサービスが提供できる様に努める。
- (4) 常に日常業務全般を見直し、通所リハビリテーション事業の効率的な運営を行う。
- (5) 利用者数に見合った職員数を確保し、事故防止に努め、利用者が安心してサービスが受けられる様に工夫する。
- (6) 職員の資質の向上を図り、質の高い通所リハビリテーションを提供し利用者との信頼関係を深める。
- (7) 財団関係施設及び事業所間の連携に努め、在宅ケアを推進する。

2023年度診療実績

白浜はまゆう病院

《クリニカルインディケータ》

クリニカルインディケータとは？

医療の質を定量的に評価することで、医療の質を客観的に測ることのできる【ものさし】にあたります。

当院でもいくつかのクリニカルインディケータを設定して、医療水準や質の面での改善課題や引き上げ目標を明確にして取り組んでいます。

		2021年度	2022年度	2023年度
患者数	外来延数	73,530人	73,837人	77,006人
	外来1日平均	251人	243人	261人
	入院延数	68,995人	65,221人	64,092人
	入院1日平均	189人	179人	175人
平均在院日数	一般病棟	9.8日	12.8日	14.1日
	回復期リハビリ病棟	58.7日	66.7日	60.5日
	医療療養病棟	251.1日	469.6日	490.0日
	地域包括ケア病棟	22.2日	17.6日	17.7日
	介護医療院	127.9日	111.5日	125.9日
病床利用率	一般病棟	本 館 4 階	86.1%	84.0%
		本 館 5 階	43.3%	49.6%
	回復期リハビリ病棟		86.1%	80.2%
	医療療養病棟		60.2%	61.7%
	地域包括ケア病棟		79.6%	69.1%
	介護医療院		96.7%	92.7%
			92.7%	92.7%
救急搬入患者	救急搬入患者	搬 送 患 者 数	1,043人	1,185人
		救 急 応 需 率	97.0%	94.0%
退院患者	死亡退院患者率		6.6%	6.8%
	退院後30日以内の予定外再入院率		2.6%	3.4%
	退院後30日以内の救急医療再入院率		0.6%	1.0%

《2023年度各診療科の主な手術 上位3位》

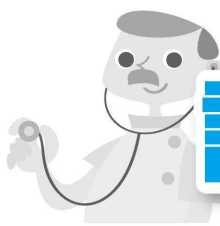
	手術名	件数
整形外科	人工関節置換術	81
	骨折観血的手術	77
	人工骨頭挿入術	29

	手術名	件数
外科	腹腔鏡下胆嚢摘出術	10
	腹腔鏡下虫垂切除術	8
	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入	7
	用植え込み型カテーテル設置	

	手術名	件数
泌尿器科	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用のもの）	11
	腹腔鏡下腎_尿管悪性腫瘍手術	5
	膀胱結石摘出術_経尿道的手術	5

	手術名	件数
乳腺外科	乳腺悪性腫瘍手術	50
	乳腺腫瘍摘出術	6
	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術	5

	手術名	件数
内科	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	67
	内視鏡的胆道ステント留置術	18
	胃瘻造設術	4



診察室からのお話

～リハビリテーション専門外来のご紹介～

白浜はまゆう病院リハビリテーション科の風呂谷容平と申します。
2023年4月よりリハビリテーション科に医師として赴任させていた
だいています。

急性期での治療が一旦落ち着いた患者を受け入れ、退院を目指す回
復期病棟で主に診療にあたっています。

まだまだリハビリテーション科の医師という職業も新しいもので、
『療法士の先生ですか?』と間違われることもあります。一般的な内
科診療から義肢装具の処方、嚥下機能評価、痙縮治療など療法士の先
生方とともに障害への機能改善を目指し治療を実施しています。



リハビリテーション科 医師
風呂谷 容平

日本リハビリテーション医学会ではリハビリテーション医学とは、『さまざまな疾患・怪我・病
態により生じた機能障害の回復を促しつつ、結果として残存した障害を克服しながら、人々の活
動を育む医学』と定義されています。

多くの診療科が臓器や器官を専門とするのに対し、リハビリテーション科の治療の対象は「障
害」です。したがって、疾病や障害を持つ方すべてが対象となり、リハビリテーション科医、理学
療法士、作業療法士、言語聴覚士は幅広い知識と技術が必要となってきます。さらに、障害その
ものから起こる特殊な病態もあり、疾病だけを診るのではなく、「全身を診る」ことも重要となっ
てきます。

例えば、脳卒中になり麻痺の症状がでると、再び歩けるようになることを目指してリハビリテー
ションを行います。順調に回復する方もいれば、麻痺が重度で改善が難しい方もいらっしゃいま
すが、適切な装具を使用すれば歩くことができるようになる方もいます。

また、比較的わかりにくい障害として「高次脳機能障害」という脳が傷ついた時に記憶障害、注
意障害、遂行機能障害、社会的行動障害、失語症などの症状が表れることがあります。

ちょっと前のことを覚えていない、同じことを繰り返し質問する、同時に複数のことができない、
計画を立てて物事を実行することができない、些細なことで激怒する、理解力の低下、うまく話
せないなど様々な症状があります。

病気や怪我が治ったようにも思えるのに、今までできていたことができない、外見からはなか
なかわかりにくいいため、周りの人から理解されにくく、本人自身も障害を十分に認識できないこ
とがあります。現状の障害の把握・改善を目指しリハビリテーションを実施し、本人・家族・サポ
ートいただける方に障害への理解、社会復帰への助言・提案など実施させていただいています。

リハビリテーション外来ではその他生活上の困りごとに対しても改善のお手伝いをさせていた
だいています。お気軽にご相談いただければと思います

各部署から



～歯科衛生士の紹介～

2024 年 7 月から歯科衛生士が看護部に配属となり、新たに8月より 1 名増員し歯科衛生士2名体制になりました。

歯科衛生士の働き先としては歯科診療所勤務が最も多く、歯医者で働いているイメージをもたれている方が多いと思います。ここ数年で全身疾患を伴う口腔機能管理の必要性が少しずつ認識されるようになりましたが、まだまだ地域や他職種にも浸透していないのが現状であります。



私たち歯科衛生士は入院患者さんの口腔衛生管理を行い、がん治療やその他治療に伴う副作用等で口腔内に生じる有害事象の早期発見や予防するとともに、誤嚥性肺炎の予防につながる口腔ケアを提供し、話しにくい・飲み込みにくい・むせるなどの口腔機能の衰えの予防（オーラルフレイル予防）も行っていきたいと思っております。

口から食べることは、生きる力の源でもあり楽しみや喜びでもあります但疾患により余儀なく口腔摂取困難な方もいます。その方々も含め少しでも楽しみの一つとなるよう口腔内を清潔に保ち、多職種と連携を図りながら「おいしく安全に口から食べる」の摂食・嚥下に関与していきたいと思っております。

また退院支援として個々に応じたブラッシング指導や口腔清掃方法の提案なども今後関わっていききたいと考えております。

まだまだ未熟ですが施設や病院勤務の経験も生かし、白浜はまゆう病院のチーム医療の一員として日々邁進していきますので今後ともよろしくお願い致します。



禁煙講演会を開催しました

2024 年 6 月 3 日（月）17 時より本館地階会議室で職員を対象に禁煙講演会を開催しました。

講師は、竹井陽川添診療所長・内科医師（JASCS 日本禁煙科学会 禁煙支援士認定）で、『2024 禁煙のススメ 特に新入職員のみなさんへ』というテーマで講演していただきました。

「ストレスのため、喫煙しようか」と、喫煙をする一歩前まで迫っていた職員が受講していたようで、竹井先生の講義を聞いて「やっぱり喫煙をやめておこう！別の方法でストレスを発散しようと思った。」との声が受講後のアンケートより寄せられていました。

富田地域の患者送迎サービスを行っています



2023 年 11 月 1 日より白浜町の協力を得て、西富田地域（堅田・才野）を除く富田地域（中・栄・平・保呂・内ノ川・庄川・平間・十九淵・富田・椿）において、白浜はまゆう病院までの患者送迎サービスを行っています。また、2024 年 7 月 1 日からは西富田クリニックまでの患者送迎サービスも新たに開始しました。

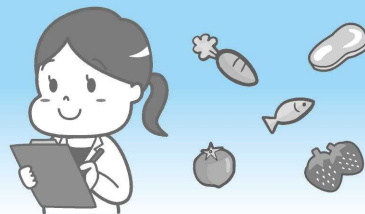
送迎内容は、前日の 17 時までに明光タクシー(株)へ「配車予約の電話」いただきますと、患者さんの「診療予約時間」に合わせて、乗り合わせの時間の調整を行ってお迎えに伺います。乗り合わせ運行となりますので、お待ち時間が生じます。また、患者さんの診療後のご自宅への送りにつきましても、患者さんより明光タクシー(株)に「配車予約の電話」を頂き病院又は西富田クリニックの玄関にお迎えに伺います。帰りにつきましても乗り合わせ運行となりますので、待ち時間が生じます。ご了承ください。

対象となる方は、公共交通が不便で通院困難な方、家族等による送迎が困難な方、普通自動車に乗降できる方で自立歩行ができる方などとなっております。

予約の申し込み先	明光タクシー(株) 電話番号 / 0739-42-2727
予 約 受 付 日	月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く）
予 約 受 付 時 間	8 時 30 分～17 時 00 分
車 両 運 行 時 間	8 時 00 分～13 時 00 分
料 金	無料



一週間の バランス献立



食養科
古井 啓詞

管理栄養士が伝えたい日々の食事のポイントについてご紹介いたします。
食事の基本は主食・主菜・副菜をバランス良く組み合わせることです。
1週間を目安に色んな食材で、調理法・味つけ等を工夫しながら食事を楽しんでみてください。
組み合わせることで様々な種類の栄養素を摂ることができます。

栄養素の豆知識 カリウムについて

・過剰な塩分を体外に排出し血圧を下げる役割があります。・筋肉の収縮や神経伝達に関わり、細胞内の浸透圧や体内のPHバランスを保ちます。※腎機能が低下すると、カリウムがうまく排出されなくなり、高カリウム血症となります。腎疾患がある場合は注意が必要です。多く含む食品:藻類、果実類、野菜類、芋類、豆類、など

	朝	昼	夕
日	米飯・味付海苔・キャベツ煮浸し 味噌汁・牛乳	米飯・鯖の薬味醤油焼き・ マカロニソテー カリフラワーの和風サラダ	米飯・かに玉風 里芋の含め煮・冷奴
月	ロールパン・ほうれん草のソテー マーマレード 牛乳・果物	米飯・赤魚のおろし煮 切り干し大根の煮物 ごぼうサラダ	米飯・豚肉味噌風味焼き 炒り豆腐 なす酢醤油和え
火	米飯・ふりかけ 卵とじ・味噌汁・牛乳	鶏のトマトソースかけ 南瓜小倉煮 もやしナムル	米飯・きんめだいさらさ蒸し ひじき煮 ポテトサラダ
水	ロールパン・メープルジャム ツナサラダ 牛乳・果物	散らし寿司(土用) さつまいもバター焼き 吸物	米飯 さつま揚げ・なすの田舎煮 カリフラワーピーナッツ和え
木	米飯 味付海苔 大根旨煮・味噌汁・牛乳	カレーライス 小松菜のサラダ 白菜のお浸し	米飯・サバの梅肉チーズ揚げ ビーフンソテー 若布三杯酢
金	ロールパン・ジャム オムレツ・牛乳・果物	米飯・鮭の香草焼き 長芋の煮物 人参サラダ	米飯 豚冷しゃぶ風・絹揚げの煮物 小松菜くるみあえ
土	米飯・ふりかけ 牛乳・大根きんぴら 味噌汁	米飯・チキン南蛮 スパンテー ブロッコリーのからし和え	米飯・鶏つくねすき焼き もやしごま酢和え 吸物・果物

朝食は、脳を活性化させることで身体を目覚めさせる役割や睡眠中に低下した体温を高める効果があります。朝食はきちんと摂りましょう。

鰻には、抗酸化作用が強く免疫力を高める効果のあるビタミンAが多く含まれています。疲労回復に効果的なビタミンB1も含まれており、夏バテ予防に効果的です。

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880**(受付) **43-6200**(代表)

診 療 科			月	火	水	木	金	土
内 科	内科1(初診)	午前	田村 志宣	加藤 寛正	竹井 陽	玉置 佑麻	中西 一郎	高村 竜一郎
		午後						
	内科2(予約制)	午前	竹井 陽	伊藤 揚荘		松尾 晃次	辻本 登志英	
		午後		松尾 晃次		岡 宏保		
	内科3(予約制)	午前		辻本 登志英	中村 信男	谷口 友志	加藤 寛正	
		午後	中村信(第2・4)	木下 正博	中村 信男	山崎 幸茂 (診察は内科1使用)	加藤 寛正	
	内科4(予約制)	午前		松本 潤				
		午後	松本 潤	岡 宏保		竹井 陽 (禁煙外来)		
	内科5(予約制)	午前			辻本 登志英	伊藤 揚荘		
		午後				松本 潤	谷口 友志	
外科／消化器外科		午前	島内 裕輝 (手術時休診)	加藤 俊治 (外科/風経ヘルニア外来)		加藤 俊治	島内 裕輝 (手術時休診)	当番医
		午後			加藤 俊治 (予約15:00～)			
整形外科1(予約制)		午前	橋村 剛		小池 達也		岩切 健太郎	
整形外科2		午前	角田 彰宏	岡野 匡志	橋村 剛	角田 彰宏	橋村 剛	
		午後				福嶋 賢三		
整形外科3(予約制)		午前			岡野 匡志			
リウマチ専門外来(予約制)		午前		小池 達也		小池 達也		
装具外来		午前		装具外来(風呂谷)		装具外来(風呂谷)		
小児科		午前	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋
		午後	古久保 和洋	古久保 和洋		古久保 和洋	古久保 和洋	
婦人科		午前	國部 久也	國部 久也	國部 久也		竹内 理佳	
		午後	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	竹内 理佳	
乳腺外科		午前	粉川 庸三	粉川 庸三		粉川(予約)	粉川 庸三 (予約外10:30まで)	
脳神経内科(予約制)		午前	中西 一郎 (予約不要)	中西 一郎 (予約不要)				
		午後		石口 宏		小口 健		
泌尿器科		午前	木村 泰典	第1・3・5村下 / 第2・4高橋	木村 泰典		木村 泰典	
		午後	木村 泰典(予約)	木村 泰典(予約)	木村 泰典(予約)		川嶋 秀紀(予約)	
皮膚科		午前						県立医大
		午後	県立医大					
眼 科		午後			田中 公子		第1・3・4・5田中 / 第2田村	
耳鼻咽喉科(予約制)		午後				県立医大		
脳神経外科		午前			中井 三量	伊藤 雅矩		
		午後				中北(予約)		
循環器外来(予約制)		午前			中村 信男			
		午後	中村信(第2・4)	岡 宏保	中村 信男	岡 宏保		
呼吸器外来(予約制)		午前				松尾 晃次		
		午後		松尾 晃次				
消化器専門外来		午前		加藤 寛正		谷口 友志	加藤 寛正	
		午後					谷口／加藤	
循環器・高血圧専門外来(予約制)		午前						担当医(月2回)
膠原病・糖尿病専門外来(予約制)		午前		伊藤 揚荘		伊藤 揚荘		
リハビリテーション専門外来(予約制)		午後				風呂谷 容平		
通院リハビリテーション外来		午前	谷口 友志	風呂谷 容平	担当医	風呂谷 容平	風呂谷 容平	
		午後	國部 久也	中西 一郎	谷口 友志	國部 久也	松尾 晃次	

※水・金曜日午後 眼科・・・予約外は先着5名までとさせていただきます。※診療担当医が変更になる場合がございます。ご了承下さい。

2024.8～

受付時間		診療時間	●休診 土曜日午後・日祝
午前(月～土)	8:30～11:30	9:00～12:00	※診療時間外(夜間・休日)に具合が悪くなったときは、日時に関係なく白浜はまゆう病院へ電話でご連絡ください。
午後(月～金)	13:30～16:30	14:00～17:00	
循環器外来(水)	(予約制)	9:00～11:30	
		14:00～16:30	
皮膚科(月)	13:00～15:15	13:00～15:30	
眼科(水)(金)	13:30～15:30	14:00～16:30	
耳鼻咽喉科(木)	(予約制)	14:30～17:00	

公益財団法人白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 大江 康弘 ●院長 辻本 登志英

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891

【E-mail】info@hamayu-hp.or.jp 【URL】https://www.hamayu-hp.or.jp/

- 西 富 田 ク リ ニ ッ ク
- 鮎 川 診 療 所
- 日 置 診 療 所
- 三 舞 診 療 所
- 川 添 診 療 所
- 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン た ん ぼ ぼ
- 通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン セ ン タ ー

〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地

〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3

〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1

〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地

〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103番地

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地 白浜医療・保健・福祉 総合センター1F

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地 白浜医療・保健・福祉 総合センター1F

